

## 『浜松市民文芸第71集』を発行しました



**表紙**は、令和7年度第73回市展で、市長大賞を受賞した彫刻・工芸「記憶の中に」神谷満さんの作品です。

**裏表紙**は、東行政センター「十湖賞」俳句大会係の制作です。十湖さんのおおらかな雰囲気がよく表れています。

『生成 AI の普及が進む今こそ、自ら考え書くことを大切にしたい!』そんな思いで発行しているのが、「浜松市民文芸」です。71集の積み重ねとなりました。今年は、小説・児童文学・評論・随筆・詩・短歌・定型俳句・自由律俳句・川柳の9部門に、2152点、532名の市民の皆さんの応募がありました。自ら書き、自ら読み(詠み)、文学・文芸に親しみ、挑戦した作品が掲載されています。ぜひご覧ください。

※クリエート浜松5階の浜松文芸館廊下に閲覧用書架があり、市民文芸をご覧いただけます。

※お求めの方は、1冊700円で、文芸館窓口とアクトシティチケットセンターで販売しています。(現在、販売用は残り35冊ほどです。)

文芸館ホームページにも掲載しました。ご覧ください。

<https://www.hcf.or.jp/facilities/bungei.php>



浜松市民文芸第71集が発行されました。浜松文芸館では、7月より収蔵展として「浜松市民文芸70年の歴史」展を開催する予定です。昭和31年の第1集からどのような変化・変遷があったのかをまとめます。入場無料ですので、ぜひご覧ください。また、市民文芸賞に高校生の作品が詩部門で1点、川柳部門で2点が選ばれ、複数の部門で市民文芸賞を受賞された方もいらっしゃいました。72集も多くの世代の皆さんの応募をお待ちしています。新しい応募要項は、8月頃から配布できる予定です。自作・未発表であることを、自分でチェックする欄があります。ご協力願います。